

■■ シンポジウム報告 ■■

LAN シンポジウム '94 (秋) 顛末記

—皆さんお疲れさまでした—

神戸大学総合情報処理センター業務掛
山西 秀幸

・シンポジウム

平成6年10月3日(月)に神戸大学情報ネットワークシステム「KHAN」の披露式典に先駆けて、LAN シンポジウム「情報ネットワークの新たなる展開— KHAN の夜明けと情報発信—」*が開催された。学内外から総勢174名の参加がありました。

午前中の基調講演は上原副センター長のマッキントッシュのマルチメディア機能を駆使したプレゼンテーションにはじまり、山梨大学情報処理センター長 林教授はネットワークを利用した小学校の授業風景をビデオ上映しながらの講演、神戸市企画調整局調査課長 木村氏は開催日前日にできたばかりの神戸市紹介 CD-ROM (最新版) を持参され、それをマッキントッシュで実演しながらの講演がありました。それぞれ講演者の方にはお忙しい中いろいろと工夫を凝らしていただき、参加者も興味深く熱心に聴き入っていた。

午後からの NTT 関西支社副支社長 井上氏の特別講演は自社で準備した高性能な AV 機器システム一式を持ち込まれ、なかでも 300 インチまで映せる大型ビデオプロジェクタには驚かされた。講演内容も今新聞等でホットな話題のひとつであるマルチメディアに関するもので、講演後の質疑応答も盛んに行われ参加者の関心の高さがうかがえた。これらの機器は NTT さんの厚意により午前中の基調講演にも使用させていただき大変ありがたかった。

・見学会

シンポジウム終了後、導入された KHAN のお披露目も兼ねた「見学会」が行われた。会場としてはシンポジウム会場の瀧川記念学術交流会館のほか、総合情報処理センター・自然科学系図書館・工学部システム工学棟・工学部本館で行われ、どの会場もたくさんのお見学者で大盛況だった。

ネットワークデモの目玉として、導入業者の富士通さんと井上助手が中心になって準備した、複数の会場間を ATM、FDDI、無線 LAN など様々な形で結んだ TV 会議システムのデモンストレーションが大々的に行われた。また、今回のシンポジウムの副題の一つである「情報発信」に基づき、インターネットを利用した情報サービスの一つである WWW サーバを LAN シンポジウム開催にあわせて神戸大学として立ち上げようと、樽磨助手が中心となってホームページの作成および各部局で公開する情報の準備作業の働きかけなど急ピッチで行なわれた。

*次ページにシンポジウムのプログラムを掲載しています。

その甲斐あって見学者にご覧いただけるものがなんとか間に合い、当日は工学部情報コンセント教室などでいろいろな機器を使用した MOSAIC のデモが行われた。これらには学生アルバイトの方に協力していただき、当日のデモ説明も含め事前のデータ入力など安い賃金でこき使いまことに申し訳なかった。

それから、ネットワーク関連企業数社に見学会での企業展示を呼びかけたところ、どこも快く賛同していただき各社最新ネットワーク機器の展示が行われた。各社展示場所には人だかりが出来、見学者がメーカの人に盛んに質問をする光景がみられ活気にあふれていた。コンパニオンまで連れてきてデモンストレーションを行っていたメーカもあり、その力の入りようにはびっくりさせられた。

最後に今回はシンポジウム、見学会、披露式典を同日開催するというハードなスケジュールとなり、センタースタッフだけではとても扱えるものではなかった。講演者、企業の方をはじめ、関連部局の教職員及び学生アルバイトの方にもいろいろとお世話になりながら、なんとか無事に終わりほっとしています。センタースタッフを含め、皆さんお疲れさまでした。

シンポジウムプログラム

	司会	神戸大学 発達科学部 助教授	蛭名 邦禎
9:30	開催挨拶	神戸大学情報ネットワークシステム委員長	高森 年
	基調講演 1		
9:40	神戸大学における情報発信	神戸大学総合情報処理センター 副センター長	上原 邦昭
10:20	休憩		
	司会	神戸大学 工学部 教授	田中 克己
	基調講演 2		
10:30	インターネットの教育利用	山梨大学情報処理センター センター長	林 英輔
	基調講演 3		
11:10	神戸市マルチメディア文化都市構想	神戸市企画調整局調査課長	木村 義秀
11:50	休憩		
	司会	神戸大学情報ネットワークシステム委員長	高森 年
	特別講演		
13:00	新たな社会システムの形成に向けて	NTT関西支社 副支社長	井上 英也
	ーマルチメディアは自ら始めるべきー		

見 学

14:30	見学路（デモ）の説明	神戸大学総合情報処理センター 副センター長	福島 徹
15:00	見学		